

広島和光園保育所 2023 7月のおたより

梅雨が明けると夏本番！暑い夏ですが、こどもたちと夏ならではの生活や遊びを満喫していきます。
園庭や中庭ウッドテラス、2階のオープンスペースなどを使って水遊びや泥あそび、感触遊びなどを楽します。
0歳児のひよこ組では、沐浴をしたり南側のベランダでたらいの水遊びをしたりしていきます。

シャワーで汗を流した後、着替えをする中で衣類着脱の習慣も身につけていきます。小さいクラスでは、育児担当の保育士が少人数で丁寧に援助しながら行います。その子の発達状況が把握できている担当保育士なので、どこまで自分でできるのか、どこを援助したらいいのかを見極めて働きかけていきます。

3・4・5歳児のこどもたちは、小さいクラスでの積み重ねがありますので、自立している子がほとんどですが、手順を見える化して提示し、いつでも確認できるようにしています。体を洗う、タオルで頭を拭く、体を拭くなど、普段ご家庭でもお風呂後に自分でできるように取り組んでみてください。特に、プライベートゾーンは“自分で洗う”を身に付けていくことは子どもを守る意味でもとても大事です。ご家庭でもぜひお子さんに教えてあげてください。水分補給などの熱中症対策も講しながら、夏をしっかりと楽しみます！！

日	曜日	7月の行事
1	土	
2	日	
3	月	体育教室
4	火	
5	水	
6	木	硬筆教室
7	金	七夕
8	土	懇談会(幼児組かぜチーム)
9	日	
10	月	体育教室
11	火	
12	水	
13	木	硬筆教室 乳児検診(0歳のみ)
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	海の日
18	火	
19	水	
20	木	硬筆教室
21	金	
22	土	懇談会(ばんだ・きりん組)
23	日	
24	月	体育教室
25	火	
26	水	
27	木	硬筆教室
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	体育教室

プラネタリウム鑑賞に行きました

6月23日(金)、年長組の子どもたちが子ども文化科学館へプラネタリウム鑑賞に行きました。例年、電車に乗って行くのが楽しみのも一つでもあったのですが、6月は梅雨の時期で天気が変わりやすく、また、年々暑さも厳しくなっている状況の中、子どもたちの体調面での不安も…。そこで！今年度はどんな気候でも快適な観光バスを使って行くことにしました♪

バスの中では、保育士がバスガイドになって広島市内を案内。電車とはまた違った旅行気分を味わいながら科学館まで向かいました。



いよいよプラネタリウム上映！満点の星空を見ると、宇宙を旅しているような気持ちに…。七夕にちなんだお話を、歓声や笑い声も起こる中、あっという間の30分間でした！



カブトムシ 見つけたよ！

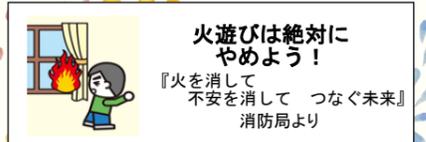
帰りはちょっと足を伸ばして、木陰がある比治山まで…。お弁当を食べて少し遊んで帰りました。なんと、大きなカブトムシにも出会って、子どもたちは大喜び！終始ドキドキワクワクの楽しい時間を過ごしました♪

川や橋がいっぱいあるね！

上映前に館内を見学。科学館ならではの楽しい遊びや実験に夢中！

季節の行事やプラネタリウム鑑賞等を通じて、星空や宇宙への興味や関心が広がっていくといいなと思っています。

わかばパパママ応援教室は、随時受付中です

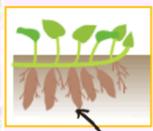


さつまいもの苗植えをしました

先月玉ねぎの収穫を終えた線路跡地の畑に、年長組の子どもたちがさつまいもの苗を植えました。加治谷担当主任が子どもたちに苗の植え方をレクチャー。玉ねぎの苗とは違って、さつまいもの苗は茎に沿って根が生えるため、苗を水平に植えると良いそうです。保育士の説明を真剣に聞いていた子どもたちは、同じように植えてみようとしてみますが、なかなか思うようにいかず…。土をさらに深く掘って植える子、苗の上に土をたくさんかぶせてみる子など、一人ひとり試行錯誤しながらも、丁寧に植えている姿がとても印象的でした。頑張って植えた苗、大きく育ちますように…。収穫する日がとても楽しみです。



こうやって植えるんだよ



こんなふうに芋ができます。(画像:農林水産省 HP より)

いよいよ! なかなかうまくいかないかな...



6月10日(土)、ポッポ宇宙線の除草作業があり、園長も参加しました。暑い中にも関わらず、地域の方が畑やその周辺のお世話をしてくださっています。作物が育つために、たくさんの方が手助けして下さっていることを子どもたちにも伝えていきたいです。

懇談会

7月 8日(土) 幼児組かぜチーム
7月22日(土) ばんだ・きりん組

お子さんの園での様子をスライドを使ってお伝えしたり、保護者懇談をします。保護者同士での良い交流の場となればと思っています。

なつまつり(3, 4, 5歳児)

年長組を中心に、“おまつり”のイメージを共有しながら、子どもたちが主体となって取り組んでいきます。開催日はまだ決まっていませんが、月末頃を予定しています。今年は何んな雰囲気のおまつりになるのでしょうか!? 当日の様子は、後日動画でお伝えしますのでおたのしみに♪

<職場体験>

楠那中学校 7月19日(水)・7月20日(木)



ほけんニュース

幼児安全法講習

今年度も、日本赤十字社より指導員の方に来ていただき、幼児安全法講習をうけました。胸骨圧迫、人工呼吸、AEDを使った心肺蘇生法の訓練に加えて、食べ物や喉に詰まらせた時の排出方法を丁寧に教えていただきました。

訓練の時に、「119番通報してください!」と周囲の人に声をかける練習をするのですが、「ひやくじゅうきゅう番」ではなく、「いちいちきゅう番」と言う方が良さそうです。それは、“子どもでも覚えやすいから”とのこと。実際ご家庭で保護者の方に何かあった時に、お子さんが119番通報してくれたら、救える命があるかもしれません。家族間でも、緊急時の対応など、お子さんも一緒に話をしてみてくださいね。

救急蘇生法の手順が記載されているHPもありますので、ご家庭でもいざという時の備えとして活用してみてください。



スマートフォンで「日本医師会 救急蘇生法」と検索すると、HPが閲覧できます。ブックマークをして、ホーム画面にショートカットを貼り付けておくと安心ですよ!



子どもの熱中症を予防しましょう

近年の日本の夏は猛暑になることが多くなりましたね。子どもたちは体温の調節機能が未熟だったり、背が低いと日照り返しの影響を受けやすかったりと、大人よりも暑さに影響を受けやすく熱中症になりやすいので、対策をしっかり行って、元気に夏を過ごしたいですね。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 熱中症予防のポイント! ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

こまめに水分補給

子どもは新陳代謝が活発です。汗や尿として体から出る水分が多く、脱水を起こしやすいので、のどがかわく前に、こまめに水分補給をさせましょう。



日差しや暑さをやわらげる

外に出る時には日差しを遮る帽子をかぶせます。服は熱のこもらない素材や薄い色を着せ、熱を吸収する黒色のものは避けます。暑さに応じて衣服を調整しましょう。

おとながしっかり見守る

こどもは遊びに夢中になると、のどがかわきや気分悪さなどに気づくのが遅くなります。周囲のおとなが顔色や汗のかき方などを見て、休憩や水分補給をさせましょう。



屋内でも油断しない

熱中症は屋外だけではなく、屋内でも発生します。日差しのない屋内でも油断をせずに、室温を適切に保ち、こまめな水分補給を心がけるようにしてください。